

●●(株)

工場長 ○○様

2010年2月18日

(社) 日本能率協会

経営ソリューション本部

担当 ○○

御社の「不良対策実務研修」に関する企画案送付の件

拝啓

貴行ますますご清栄のことお慶び申し上げます。また、この度はご多用にもかかわらず JMA へご訪問いただき、御社の詳しいご事情とご要求をご紹介いただき、御礼を申し上げます。さて、早速ですが、題記に関し、下記にて企画案を送付させていただきます。ご検討よろしくお願ひ申し上げます。簡単ながら、題記に関し、下記にて詳細記載めで。本件を含め、御社の益々のご発展と成果創出を願う次第です。

敬具

記

1, ご紹介内容とニーズの整理

現在まで、収益向上の対処に注力してきたが、これを更に進展させ今後の発展のために品質強化を図りたい。なお、製造現場は従来から自律的、また、積極的に改善を進め、喜びを勝ち取る気風が醸成されていないため、実務課題を通じた改善体制作りと不良撲滅の同時化を早期図りたい（4月よりスタートを希望）。

2, 提案内容（案）

- ① 4月に実務課題中心に現地にて研修を行う。
第1回 4月16日(金)：不良再発防止対策、特にヒューマンエラー対策を研修
第2回 4月27日(火)：第1回のフォロー後、標準化見直しを中心とした予防対策
- ② 5月以降（第3回以降） 3回程度 Skype（TV会議システム）利用、2時間程度のオンライン研修にてテーマ推進のフォローと実務課題相談会で、①の内容の波及と深耕を計る。その後、1～2回程度、新製品開発段階からの不良ゼロ対策検討を行う。
- ③ デザイン・イン対策：本件は①、②の現場強化課題終了後に内容を決め進める。
含む、OME体制と新規受注拡大のため、顧客への企画書提示戦略

3, 研修の内容(案)

- (1) 第1回 4月16日(金)「不良再発ゼロ対策」：講義と演習
事前に製品別にメンバー編成を御社で願ひ、実務課題の解決対策へ向ける。
 - ① 9:00～10:20 品質改善の歴史と死亡診断書禁止対策：講義と演習
 - ② 10:30～14:00 ヒューマンエラー対策手法：講義と演習
 - ③ 14:10～16:00 実務課題の解析～対策
 - ④ 16:10～17:30 解析内容の全体発表（チーム代表）と宿題の確認

(2) 第2回 4月27日(火)：第1回のフォロー後、標準化見直しを中心とした予防対策

- ① 9:00～12:00 宿題のフォロー (チーム代表者発表)
- ② 13:00～14:40 標準化見直しによる予防対策の進め方：講義と演習
- ③ 14:50～17:15 実務課題による標準書の見直し～現場実務での活用法研究
- ④ 17:15～17:30 まとめと～今後 (残余の課題の整理～対策について説明)

(3) オンライン相談会 5月より適宜実施：全5回

3回程度、事前に検討内容をJMA中村へ送付願ひ、TV会議システムによる相談を行う。本件終了後、No.2の③デザイン・イン対策の検討に入る。

(4) デザイン・イン対策

- ① 9:00～14:30 デザイン・イン対策の進め方：講義と演習
- ② 14:40～17:30 実務課題による対策 (DRの具体策と方式を決める)

研修は実務課題をテーマに、設問を事前送付、テキストは当日配布して行います。また、テキストなどのコピーは原紙を送りますので、御社にてコピーをお願い致します。

4, 担当講師：内容 (技術的な内容は中村へ直接お願い致します。)

(社)日本能率協会 専任講師 中村茂弘 TEL：03-3434-6616

移動中 e-Mail: s_nakamura@mtc.biglobe.ne.jp

出張などで離席が多いため、ご相談は上記 e-Mail の方へお願い致します。

5, 費用(見積もり額)に関すること

研修費用は税込みにて下記の通り。講師の宿泊はなし。交通費と昼食代は別途要求となります。担当、●●：TEL:03-3434-6616 e-Mail: Masamitsu_Sato@jma.or.jp

- ① 第1回、第2回：●●万円／回×2回＝合計●●万円
 - ② 第3回以降 (5回分のオンライン相談会)＝●万円／回×5回＝●万円
 - ③ デザイン・イン対策実務研修 (1回)＝●●万円
- 合計●●●万円

以上